

5.23 CIM 解決研究会第 49 回勉強会のご報告

令和元年 5 月 30 日
CIM 解決研究会事務局

去る紀尾井フォーラムにおいて、39 名の参加者を得て第 49 回の CIM 解決研究会勉強会が開催されました。勉強会の冒頭では、参事である元建設省大臣官房審議官の天本俊正様よりご挨拶を頂きました。



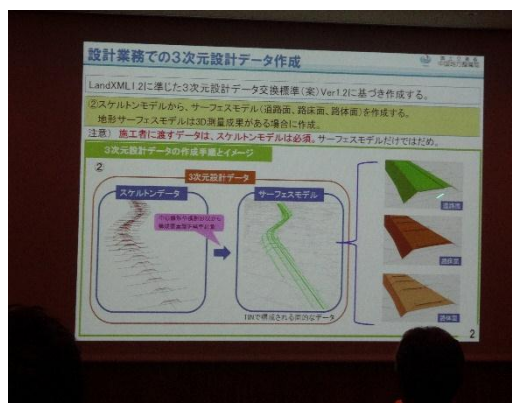
「マルチビームによる海域での測量調査」(株)東日本建設コンサルタント 齊藤忍様、(株)東陽テクニカ 清水俊成様

海域での測量に関する概要や、マルチビームを用いた測量手順、技術のメリットについてに関するお話を頂きました。参加者の方からは「まだ世に出まわっていない製品、技術について知れて良かったです。」といった感想を頂きました。



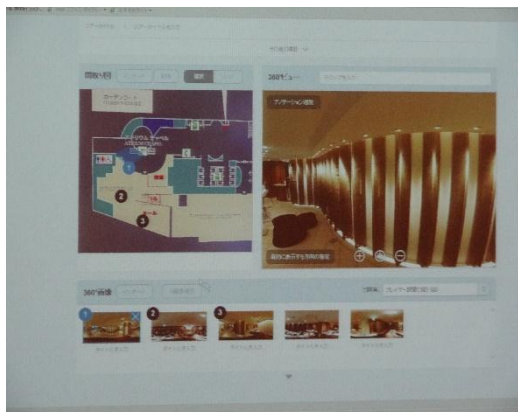
「BIM/CIM の動向と V-nasClair シリーズ・basepage のご紹介」川田テクノシステム(株) 尾畑圭一様

設計施工間の情報連携を目的とした 4 次元モデルの考え方や、発注者への研修に関するお話を頂きました。参加者の方からは「V-nasClair の導入を検討しているため参考になりました。」といった感想を頂きました。



「現場の3次元化事例等」 当会 福士幹雄、齊藤学一

福士からは、VR+ストリートビューによる現場のみえる化に関するお話や、現場ストリートビューの作成実演をさせていただきました。齊藤からは、当会で出展している第2回建設・測量生産性向上展についてのお話をさせていただきました。参加者の方からは「現場に応用できそうな技術を数多く紹介して頂き、実戦投入していきたいと感じました。」といった感想を頂きました。



勉強会終了後の懇親会には26名の方にご参加いただきました。沢山ご来場頂き有難うございました。

